

栗島スポーツクラブ規約

第1章 総則

(名称)

第1条 本クラブは、栗島スポーツクラブ（以下、「本クラブ」という。）と称する。

(所在地)

第2条 本クラブの事務局を会長宅に置く。

(目的)

第3条 本クラブは、地域と密着した総合型のクラブ活動を通して、地域住民の健康づくり、地域社会の活性化、青少年の健全育成に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本クラブは、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 栗島小学校を中心に、定期的な日常スポーツ活動の実施
- (2) 各種スポーツ大会、スポーツ教室の開催
- (3) 地域住民が世代を超えて交流できるイベントの開催
- (4) お祭りなど地域行事への積極的な参加
- (5) 会員の親睦を図るための各種社交的行事の開催
- (6) 会員の健康、体力の増進を目指した体力チェックや健康相談事業の開催
- (7) その他、本クラブの目的達成のために必要な事業

第2章 会員

(入会資格)

第5条 本クラブの会員は、次の要件を備えていなければならない。

- (1) 本クラブの目的に賛同する者であること。
- (2) 医師から運動制限または禁止の診断を受けていない健康な者であること。
- (3) 本クラブの諸規定を遵守する者であること。

2 会員の資格は、他に譲渡できない。

(会員資格の喪失)

第6条 会員の資格は、脱退、除名、死亡によって喪失する。

2 会員が脱会する場合は、書面をもって会長に届け出なければならない。

(除名)

第7条 会員が次の各号のいずれかに該当するときは、総会において総会員の4分の3以上の議決により、除名することができる。

(1) 会員が第5条の要件を満たさないとき。

(2) 会員が本クラブの名誉をき損したとき。

(入会手続きと会費納入)

第8条 本クラブに入会を希望する者は、所定の手続きに従って書面で申し込み、本クラブが定める会費を納入するものとする。

2 入会申し込み後の記載事項に変更が生じた場合は、速やかに届け出るものとする。

(会 費)

第9条 会員は、別に定める会費を納入しなければならない。

(会費の返還)

第10条 一旦入金した会費は、返還しない。

但し、地震、風水害、事件、事故、感染症のまん延等により、すべての活動が休止となった場合は、6スポーツクラブ連絡会議において協議し、会費の全部又は一部を返還することができる。

第3章 役 員

(役 員)

第11条 本クラブに次の役員を置く。

(1) 会 長 1名

(2) 副会長 2名

(3) 事務局長 1名

(4) 書 記 若干名

(5) 会 計 若干名

(6) 理 事 若干名

(7) 会計監査 2名

(選 任)

第12条 会長は、理事会の互選とする。

2 副会長、事務局長、書記、会計、会計監査は、理事の中から会長がこれを委嘱する。

3 本クラブの理事は、各種団体の代表者と栗島スポーツ地域委員で構成する。

(顧 問)

第13条 本クラブに顧問を置くことができる。

(職 務)

第14条 役員の職務は次のとおりとする。

(1) 会長は、本クラブを代表し、クラブ運営全体の統括をする。

- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、会長があらかじめ指名した順序によってその職務を代行する。
- (3) 事務局長は、本クラブの事務を統括する。
- (4) 書記は、本クラブの事務を処理し、事務局長を補佐する。
- (5) 会計は、本クラブの会計事務を処理する。
- (6) 理事は、本クラブの会務を処理する。
- (7) 会計監査は、本クラブの会計事務を監査する。

(任 期)

第 15 条 役員の任期は、2 年とする。ただし、再任は妨げない。

- 2 補欠による役員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 役員は任期満了の場合においても、後任者が決まるまでは、その職務を行う。

第 4 章 指導者

(指導者)

第 16 条 本クラブに実技指導者を置くことができる。

- 2 実技指導者は、理事会の決議を経て会長が委嘱する。
- 3 実技指導者は、スポーツ指導並びに青少年健全育成に熱意を有する者とし、北名古屋ふれあいスポーツクラブ主催の研修会に参加しなければならない。
- 4 実技指導者が本クラブの理念に違背する行為等があった場合は、理事会の決議を持って除名することができる。

第 5 章 会 議

(総 会)

第 17 条 本クラブの総会は、毎年 1 回開催し、次の事項を決議又は承認する。

- (1) 事業報告、決算に関すること。
 - (2) 事業計画、予算に関すること。
 - (3) 役員の選出に関すること。
 - (4) 規約の改正に関すること。
 - (5) その他、本クラブに関して重要な事項。
- 2 総会は、会長が召集し、議長となる。
 - 3 総会は、成人会員の 1 / 2 以上の出席をもって成立とする。ただし、委任状により他の出席会員を代理人とする者は出席とみなす。
 - 4 総会の決議は、出席者の過半数で決定し、可否同数の場合は、議長の決するところ

による。

5 本規約の改正は、出席者の2／3以上の同意を必要とする。

(理事会)

第18条 理事会は、年6回以上開催し、次の事項を協議し決定する機関とする。

- (1) 事業、予算の執行に関すること。
- (2) 事業報告書、決算報告書の作成に関すること。
- (3) 事業計画案、予算案の作成に関すること。
- (4) 専門部会、実技指導者に関すること。
- (5) その他総会により委任された事項の執行に関すること。

2 理事会は、会長が召集し、議長となる。

3 理事会は、理事の1／2以上の出席をもって成立とする。

4 理事会の決議は、出席者の過半数で決定し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

(専門部会)

第19条 本クラブに次の部会を設置することができる。部会は、それぞれの部会長が召集する。

- (1) スポーツスクール部会
- (2) スポーツサークル部会
- (3) カルチャーサークル部会
- (4) 地域ふれあい活動部会
- (5) 広報・渉外部会

2 専門部会の名称、目的及び定数等は理事会で決定する。

第6章 会 計

(経 費)

第20条 本クラブの経費は、以下のものをもってあてる。

- (1) 会費
- (2) 事業等による収入
- (3) 補助金及び交付金
- (4) その他の収入

(経 理)

第21条 本クラブの経理は、会計が管理する。

(予 算)

第22条 本クラブの予算及び決算は、総会での決議又は承認を必要とする。

(会計年度)

第 23 条 本クラブの会計年度は、毎年 4 月 1 日から始まり翌年 3 月 31 日に終わる。

第 7 章 事故の責任

(事故の責任)

第 24 条 会員は、本クラブの活動に際して本クラブの諸規定及び施設管理責任者並びに実技指導者の指示に従い、自己の責任において行動するものとする。これに違反して、盗難、傷害等の事故が起きても、本クラブ並びに実技指導者に対し、一切の損害賠償責任を請求しないものとする。

(安全保険への加入)

第 25 条 会員は、スポーツ安全保険に加入しなければならない。この場合において、本クラブは、その活動中の傷害については、スポーツ安全保険の対象範囲内のみで対応するものとし、未加入者の活動の事故については、一切の責任を負わない。

第 8 章 雑 則

(委 任)

第 26 条 本規約に定めのない事項及び運営上必要な事項は、会長が理事会の決議を経て別に定める。

附 則

1 本規約は、平成 15 年 5 月 31 日から施行する。

(発足当初の役員の任期)

2 本クラブ発足当初の役員の任期は、本規約第 15 条の規定にかかわらず、平成 16 年 3 月 31 日までとする。

(発足当初の会計年度)

3 本クラブ発足当初の会計年度は、本規約第 23 条の規定にかかわらず、発足の日から平成 16 年 3 月 31 日までとする。

附 則

本規約は、平成 18 年 3 月 20 日から施行する。

附 則

本規約は、平成 24 年 4 月 22 日から施行する。

付 則

本規約は、令和 3 年 4 月 10 日から施行する。